

～ 松田紗依先生 ロシアンメソッドピアノ研究会 11 / 20 (木) に参加して～

昨年から何度か開かれている松田紗依先生の講座の受講生らからの要望によって、1クラス10名までの研究会が京都、修学院のアトリエ松田にて開かれた。すでに、2クラスの第1回目研究会は前の週に開かれており、今回は3クラス目となる。受講生らが関西各地から集まってくる。少人数ということもあり、和気あいあいとした雰囲気の中、研究会が始まった。

ひとりひとりが順番にピアノにむかう。まずは椅子の高さから。それぞれに適当な高さが全く違うことに気付かされる。次にぬいぐるみを使って、手の緊張をやわらげるコツ、そして、1音1音をいかに弾いていくか、に移っていく。受講生皆が違い、そして先生のアドバイスによって、音がどんどん変わっていくのがおもしろい。ひじや手首、親指など緊張のある部分を触りながら指摘されほぐす、音を出すときの微妙な重心の感じ方、音の方向のイメージ、これらを連動して柔らかく、力強く、そして伸びのある、音楽的な音へと導かれていく。

それぞれに求めるものがあり、遠方から集まった受講生の方々と触れ合う機会を得たことも研究会での収穫であった。秋深まる美しい京都に溶け込んでいるかのようなアトリエ松田において素晴らしい彫刻に囲まれ、勉強する機会をいただいた幸せを想う。受講生の要望により、今後も研究会は継続されていくとのことである。

2008年11月25日

レポート 川村緑子